

「千葉県新生児マススクリーニングにおける先天性副腎皮質過形成症の急性期および長期臨床経過の実情調査」に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年6月22日～2025年3月31日

〔研究課題〕 千葉県新生児マススクリーニング事業における先天性副腎皮質過形成症の急性期臨床経過および長期フォローアップの実情調査

〔研究目的〕

先天性副腎皮質過形成症の重症度を予測する因子を特定し、発症状況、成長、長期管理における課題を明らかにします。

〔研究意義〕

先天性副腎皮質過形成症の急性期治療の向上、慢性期の生活の質の向上が期待できます。

〔対象・研究方法〕

1989年1月1日から2022年12月31日までに新生児マススクリーニングによって先天性副腎皮質過形成の疑いで受診された方を対象に、診療録より出生時の体格、性別、スクリーニング検査時の血液検査結果、受診時の症状、血液検査値、長期経過の内容、最終身長、現在の状況などを集積し、解析します。

〔研究機関名〕

帝京大学ちば総合医療センター小児科、千葉大学医学部附属病院小児科、松戸市立総合医療センター小児医療センター小児科、成田赤十字病院小児科、国保直営君津中央病院小児科、東京歯科大学市川総合病院小児科、千葉県こども病院内分泌科、帝京平成大学、いのまたこどもクリニック

〔個人情報の取り扱い〕

この研究に関する情報は、特定の個人が識別できない状態に加工され管理されます。特定の個人が識別できない状態に加工された情報は、帝京大学ちば総合医療センター小児科の南谷幹史により管理されます。提供された情報については共同研究機関の研究担当者のみ利用し、個人情報、研究記録は、10年間保管した後、匿名のままシュレッダー処分あるいは電子的に消去します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者： 南谷幹史 病院教授

研究分担者： 菱木はるか 准教授

所属： 帝京大学ちば総合医療センター 小児科

住所： 千葉県市原市姉崎 3426-3 TEL: 0436-62-1211 (代表) [内線 2914]